

一般質問



近藤なつ子
議員

待機児童解消へ 区は、抜本的対策を



雨宮たけひこ
議員

新宿区の出生数は毎年2200人前後増え、待機児童は今年度4月1日新定義で176人、旧定義で333人と増え続けています。近藤議員は、待機児童を発生させない計画をつくる重要性を指摘し区の対策を質しました。

問 来年4月に待機児をゼロにするとの区長マニフェストの公約は達成できるのか。

答 篠町・榎町地域の切迫した状況は解消される。

問 10月末で廃園になる戸山第三保育園を当面待機児童解消のため活用するなど工夫を。

答 若松地域は突出して高い整備率なので、そのように活用する必要はない。

問 「国民年金保険料後納制度」は、加入期間中に納めることができなかつた年金保険料を過去10年分遡つて納付できる制度で、2012年10月から2015年9月までの3年間に限り適用されます。後納制度を利用することで、年金額が増えたり、納付期間が不足して年金を受給できなかつた方が年金受給資格を得られる場合があります。

日本共産党区議団は、「2014年度新宿区予算編成に関する要求書」を中山弘子区長に提出しました。今回は、重点31項目を含む425項目を要求しました。日本共産党区議団は、区民のみなさんから寄せられた要望をもとに、毎年予算編成前に要求書を提出しています。昨年要求した中では、子どものおたふく風邪と水痘予防接種費用助成、耐震化支援事業の拡大、中学校への日本語学級設置等々が実現しています。

● 旧定義待機児童数：認可保育園を申し込んだが入園できなかつた児童の数

● 新定義待機児童数：旧定義から、認可園に入園不可のため認証保育所や保育ルーム、保育ママに預けている児童を除いた数

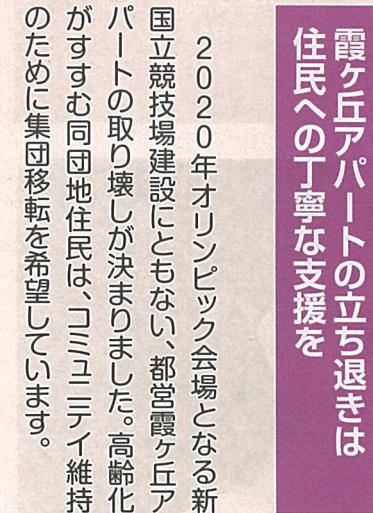
説を示すべき。

個々の家庭状況を聞きながら把握し、4月の入園事務終了後まとめて分類している。



川村のりあき
議員

中山区長に提出 来年度予算に関する要求書を



霞ヶ丘アパートの立ち退きは
住民への丁寧な支援を

2020年オリンピック会場となる新

国立競技場建設にともない、都営霞ヶ丘アパートの取り壊しが決まりました。高齢化がすすむ同団地住民は、コミュニティ維持のために集団移転を希望しています。

問 空き戸数が増えており、見守り強化が必要。

答 高齢者総合相談センターが状況を把握しており、町会等の協力も得て必

問 集団移転の要望に応え、移転スケジュールは早く示すよう都に要請を。

答 まともに移転できるよう都に要望しております、区内の移転先を用意していると聞いています。安心して移転できるよう都に要請する。

問 移転で出るゴミについて、個別収集の案内を徹底し、粗大ごみの出し方も配慮を。

答 訪問収集の案内を行つて、粗大ごみの取り扱いは都と協議をすすめている。

問 保証人がいない、初期費用が払えないような入居者に、公的保証人制度をつくり、費用を貸し出すなどの支援をすべき。

答 事業者に移転先確保を要請し、区の住み替え相談などの情報提供をしていく。公的保証人制度や費用の貸し出しは考えていない。

■「国民年金保険料後納制度の利用に係る資金の貸付けに関する条例」を提案

